

信頼性の高いウェスタンブロットデータを得るために

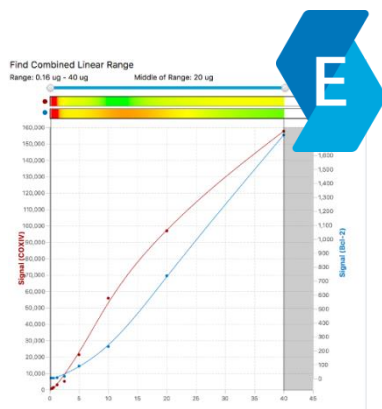
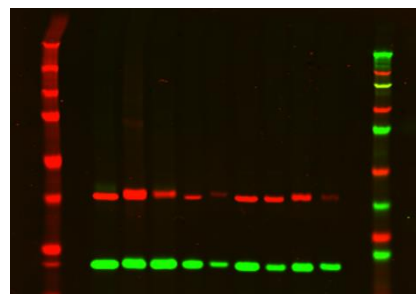
～ 最新の論文投稿ガイドラインのご紹介 ～

近年、定量ウェスタンブロットが変わりつつあります。定量ウェスタンブロットの論文投稿規定が厳しさを増すにつれて、米国を中心に、その検出手法は従来のケミルミ法から蛍光検出法にシフトしつつあります。

本セミナーでは、ウェスタンブロットの定量性と再現性を高めるための方法、最新の論文投稿ガイドラインを満たすデータを出す方法をお話いたします。

こんな方々にぴったりのセミナーです

- 「定量ウェスタンの質を改善したい」
- 「ウェスタンブロットの再現性をもっと上げたい」
- 「リン酸化ウェスタンをやりたい」
- 「ケミルミはサチュレーションが問題になる」
- 「検出時間の最適化が大変」
- 「ハウスキーピングタンパク質は発現量が変わってしまう」
- 「最新の論文投稿規定を知りたい」



● 開催日時

7月16日 14:30～15:30

● 場所

M&Dタワー11F 大学院講義室3

● お問い合わせ先

株式会社スクラム 柳橋 正大
m-yanagihashi@scrum-net.co.jp

LI-COR



株式会社 スクラム